

# 創造性を発揮した映画を どう実現するか？

## 映画の危機の克服と映画運動の再構築

私たち日本映画復興会議は、日本映画の文化的・産業的復興と民主的な再生をめざして活動を進めています。

映画興行は上昇基調にあるかのような数字が発表される裏側では、採算の取れる映画と取れない映画の格差は拡大しており、製作費の極端な削減が進んで、質の確保が難しくなっています。低予算化、質の低下、回収の困難、最終的には製作会社の破綻という、悪循環が始まっています。さらに、この間進んできた特定秘密保護法、日本版 NSC 法、安保関連法制等による「戦争のできる国づくり」の動きを反映し、自主上映等の実施にあたって従来行われていた後援等の取り消し、上映会場の貸出忌避などが横行しつつあります。

このような状況を打破し、創造性を発揮した優れた映画をつくり普及する道について、現場からの報告などをもとに、みんなで探りたいと思います。

**パネリスト 桂壮三郎氏** (プロデューサー、映画『ひまわり』ほか、日本映画復興会議代表委員)ほか

**日時 2016年3月12日(土) 13:00~16:30**

**会場 ありすいきいきプラザ (3階) 集会室 B (東京・広尾)**

(東京メトロ・広尾駅出口1より徒歩8分)

東京都港区南麻布4-6-7

電話(03)3444-3656

**参加費 全国集会 1,000円**  
(討議資料代込み)

### ●同日、同会場で開催 「2016年度日本映画復興会議 定期総会」

**日時 2016年3月12日(土)  
10:00~12:00**

#### 日本映画復興会議

東京都文京区本郷 2-12-9-301 映演労連気付

★お問合せは **080-5462-2389 (井上)** まで

